

令和3年度 第1回倉敷科学センター協議会 議事録

【日 時】令和3年8月4日(水) 18:30～20:45

【会 場】科学センター研修室及びプラネタリウム

【出席委員】尾崎委員, 箕口委員, 中原委員, 福田委員, 高木委員, 荻野委員, 岡本委員

【欠席委員】山田委員, 江越委員, 原委員

【事務局】三宅部長, 山本次長, 三谷参事, 藤田館長, 三島主幹, 石井主任, 西村主任

【傍聴者】2人

1 開会

(1) 挨拶

【事務局】まだお越しになっていない方もいらっしゃいますが、定刻が参りましたので、ただいまから、令和3年度第1回倉敷科学センター協議会を開催いたします。

私は、倉敷科学センター館長の藤田と申します。本日は全体の進行をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず会議の成立についてですが、倉敷科学センター条例施行規則第10条第6項の規定により、委員の半数以上の出席をもって成立いたします。今日現在、委員は10名で構成されておりまして、ただいま7名出席されていますので、会議は成立しております。

なお会議は原則公開ということで、本日は傍聴者が2名いらっしゃいます。

それでは、お手元にお配りしております協議会要項に従って進めて参ります。まず、会議に先立ち、教育委員会を代表いたしまして、生涯学習部長の三宅が御挨拶申し上げます。

【部 長】本日は暑い中、御多忙の中、御参加いただきありがとうございます。もう、どこへ行っても同じような挨拶で、コロナの話ばかりになりますが、科学センターもコロナ禍の中で、お客様の足が途絶えることなく御来館いただいています、ありがたいことだなあと思っています。スタッフは感染症対策に気を付けながら、日々頑張って運営をしておりますので、何かお気づきのことがありましたら、教えてやってください。本日は、前年度の事業報告の総括等を含め、この後、全天周映画3本の試写を御覧いただき、次期の上映作品2番組の選定を御協議いただく予定ですので、どうぞ忌憚のない御意見をいただきますようよろしくお願いいたします。

(2) 委員紹介 (名簿順に自己紹介)

(3) 事務局紹介 (自己紹介)

2 会長、副会長の選任

【事務局】 それでは、協議の方に入っていきます。7月1日に、任期満了に伴う全委員の改選があつてから、初めての協議会となりますので、まず役員を選出をお願いいたします。会長、副会長を委員の皆様から選んでいただきたいと思いますのですが、どなたか御推薦がございましたらお願いします。

【特に意見なし】

【事務局】 特に御意見がないようでしたら、事務局側から提案させていただいてもよろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【事務局】 それでは、学識経験者の委員の中から経験年数の長い方から順番にお願いしたいと思います。そうしますと、山田委員と箕口委員になりますが、箕口委員は前の期まで副会長でしたので、今回は会長をお願いしたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

【全員異議なし】

【事務局】 ありがとうございます。それから山田委員は、今日まだお見えになっていないんですが、委員の互選で役員が決まらなかった場合に副会長をお願いすることを御本人には内諾いただいておりますので、この場で御承認いただけますでしょうか。

【全員異議なし】

【事務局】 ありがとうございます。それでは、新しい役員は箕口委員が会長、山田委員が副会長となりました。箕口委員は、会長席に移動をお願いいたします。

3 諮問

【事務局】 本日御協議いただく事業計画について、諮問させていただきます。よろしくお願いいたします。

(諮問)「令和3年11月期及び令和4年3月期全天周映画上映作品の選定について」

(藤田館長から箕口会長へ諮問書を渡す)

4 報告・協議事項

【事務局】ここから議事進行を箕口会長さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(ここから箕口会長が議事を進行)

(1) 議事録署名人の選任

【会 長】それでは、今回会長をさせていただくことになりました。頑張って参りますので、皆様よろしくお願いいたします。

まず、本日の議事録署名人を2名選任したいと思います。いかがでしょうか。

【特に意見なし】

【会 長】自薦がないようでしたら、私の方で指名させていただいてよろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【会 長】それでは、荻野委員さんと岡本委員さんをお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【会 長】それでは、お二方、荻野委員さんと岡本委員さん、よろしくお願いいたします。

(2) 【報告1】「令和2年度事業報告について」

(3) 【報告2】「令和3年度事業計画について」

【会 長】はい。それでは議事の方を進めさせていただきたいと思います。

まずは「報告1」の「令和2年度事業報告について」と併せて「報告2」の「令和3年度事業計画について」を進めさせていただきます。これは前回3月の開催時に、2月末までの実績で報告があったことですが、事務局から改めて説明をお願いします。

【事務局】はい。報告事項についてですが、いずれも前回3月4日の協議会の場で、2月末締め時点での状況を報告させていただいており、この度は改めて年度末締め時点の資料を予め皆様に送付して、事前に目を通していただいた上で、本日この協議会の場で御質問を伺うこととしておりました。

令和2年度の報告については、資料を1枚はぐっていただくとカラーのページが1枚はさ

んであると思いますが、こちらが総括となります。ページ中ほどに大きく書いてあるとおり、総入館者数が前年度に比べて65%ダウンの61,477人で、前年度が175,820人ですから、11万人以上の減ということです。原因は皆様も御承知のとおり、新型コロナウイルス感染症対策のため年度初めから2か月臨時休館したことと、再開後もプラネタリウムは座席数を制限したり、上映回数を減らしたり、また展示室も状況によって一時的に入場券の発券を休止したり、講座やイベントを中止したり、といった一連の対応をしたことによるものです。

ついでながら、ページ右下に有料者率57.1%という数字がありますが、これも例年ならほぼ50%、有料・無料が半々くらいになっています。ところがその下に書いてある無料に該当する場合のうちの「市内の小中学校児童生徒」が、学校団体として利用する件数が相当数減ったことと、無料の大規模イベントが全て中止になったこと等で、相対的に有料者率が上昇しました。

その次のページは、年度別の総入館者数を棒グラフで比較したもので、一目瞭然、令和2年度の少なさが際立っています。ちなみに吹き出しで示しているのは、特に入館者が多かった年の主な要因で、特に夏休み企画展で恐竜を扱うと入館者数が増えることが伺えます。

また、令和3年度の事業計画については、当初予算の数字が反映されたこと以外に変更ありません。以上です。

【会 長】はい。事業報告について、何か御意見・御質問はございますか。

【特に意見なし】

【会 長】御意見・御質問がないようでしたら、「令和2年度事業報告」及び「令和3年度事業計画」については、認められたということですのでよろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【会 長】それでは、次に「令和3年11月期及び令和4年3月期全天周映画上映作品の選定」について協議するため、会場の移動をお願いいたします。

本日上映していただくのは、『しまじろうとおおきなき』、『アイスエイジ』、『ボイジャー 終わりなき旅』の3本で、10分後に上映を予定しておりますので移動の方をお願いしたいと思います。

【事務局】事務局の方で御案内いたします。

(プラネタリウムに移動)

—プラネタリウムで全天周映画候補作品試写を鑑賞—

(上映終了後、実験実習室に移動)

(4)【協議】令和3年11月期及び令和4年3月期全天周映画上映作品の選定について

【会 長】全天周映画上映作品について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】まずは長時間に渡り、3本の映画を御覧いただき、ありがとうございました。

まず、資料4「全天周映画上映作品の選定について」という束を御覧ください。

映画については、年間3本、7月と11月と3月に新作を上映することとしています。今回選定していただくのは、「上映スケジュール案」に書いてある11月から上映する「作品①」と来年3月から上映する「作品②」になります。

候補となる作品3本を先ほど見ていただきましたが、1枚ページをはぐって「資料4-2」の下半分に、科学センター職員が事前に試写を見て評価した結果を載せておまして、その上位3作品を御覧いただいたということです。

その評価の右寄りに星印を並べている部分がありますが、科学センター職員の評価として、内容が「子ども向け・ファミリー向け作品」なのか、あるいは「大人向けで科学性の高い作品」なのか、といった作品の傾向を示しています。最後に御覧いただいた『ボイジャー 終わらなき旅』は大人向けの科学性の高い作品、『しまじろうとおおきなき』と『アイスエイジ』は、子ども向け・ファミリー向けの作品という評価でした。

その次のページは、近年の上映作品の一覧です。現在上映中の3作品が右下にあります。

資料5「全天周映画の作品選定の基本的な考え方（ガイドライン）」を御覧ください。

上半分に表がありますが、この表で言うと、現在は作品ABC、すなわち『HAYABUSA2-REBORN-』、『ごん』、『南極大陸 未知の世界へ』を上映している期間になります。このあと11月からは作品BCD、来年3月からは作品CDEの組み合わせとなるので、今回選定していただく作品については、現在上映している『ごん』や『南極大陸 未知の世界へ』との組み合わせについても考慮いただけたらと思います。

これらを参考に、科学センターで上映する作品としてどれが一番相応しいか、「作品①」、「作品②」それぞれについての選定を御協議願います。以上です。

【会 長】ありがとうございます。それでは委員の皆様にも御協議いただきたいと思います。どなたか、上映作品について、御意見、御質問等ございますでしょうか。

【特に積極的に意見出ず】

【会 長】無いようでしたら、お一人ずつ順番に御意見、御感想等をお伺いしたいと思います。

【委 員】どの作品も楽しく観させていただきました。

最初の『しまじろうとおおきなき』は、しまじろうと言うと幼児向けのイメージだったんですが、作品は案外大人が見ても楽しめるのかなあ、と思いました。幼児限定なのか、どういう世代を対象としているのかは分かりませんが、家族みんなで観られる作品なのかなあ、と言う印象です。ただ、ちょっと気になったのが、最後「お母さん！ お母さん！」と言うシーンがあって、お母さんがいない子どもたちも見ることがあると思うので、そういった子

たちが、どういうふうを感じるのかな、というところが気になりました。

『アイスエイジ』は、CGがすごくて、映像がすごかったなあ、という印象でした。

最後の『ボイジャー 終わりなき旅』は、前回の協議会の時にも観たと思いますが、2回目に観た今日の方が、内容がよく分かって、より楽しめました。

【会 長】はい、ありがとうございました。続きまして次の委員の方、お願いいたします。

【委 員】『しまじろうとおおきなき』は、画面が大きすぎる印象が強くて、わざわざここで観なくても家で観た方がいいのかな、と少し感じたところですが。対象年齢が低すぎるようにも思えて、小学生ぐらいになって大人と一緒に来たときに観るのかな、とも思いました。

『アイスエイジ』と『ボイジャー 終わりなき旅』はどちらも迫力があって、『ボイジャー 終わりなき旅』に関しては、特に映像がきれいだったと思います。

個人的には、この中から2作品を選ぶのは、ちょっとしんどいな、という感想です。

【委 員】だいたい皆さんと同じような感じですが。

『しまじろうとおおきなき』については、年齢層が小学生より低い層なのかな、観る方の層が意外と狭いのかな、という印象です。

個人的には『アイスエイジ』が一番おもしろいかな、と思いました。特に恐竜じゃないところに注目しているところ、地球環境とか自然科学物としておもしろい作品だと思いました。

『ボイジャー 終わりなき旅』は、番組としては非常におもしろかったんですが、若干誇張があるというか、ボイジャーの成果じゃないものもボイジャーの成果としている雰囲気があって、そこはアメリカじゃない国の制作という影響もあるのかな、というようなことを思いながら見ていました。

【会 長】ありがとうございました。では、次の委員の方、お願いいたします。

【委 員】難しいですね。

『ボイジャー 終わりなき旅』は、前回観ていたことに気づかないまま最後で気づくという感じで、前回なぜ選ばれなかったのか、という理由を思い出さないといけないな、と思いました。

『しまじろうとおおきなき』は、私も全天周映画には向かないのかな、と感じるところはありました。画面が大きくなりすぎているのに、小さくくり抜いたような四角いコマに映像を収めるシーンも多くて、全天周映画と言えないんじゃないか、というような作品の作りにはなっていると思ったんですが、子ども向け番組をどうするか、ということを考えると、『ごん』が終わった後に、一つ要るのかな、と思いました。

ですから『HAYABUSA2・REBORN』が終わった後に『ボイジャー 終わりなき旅』が来て、『ごん』が終わった後に『しまじろうとおおきなき』が来て、7月に『南極大陸 未知の世界へ』の後に『アイスエイジ』というのがスムーズな流れなのかな、と。ただ7月の作品は次回の協議会のときに、もっと相応しい候補作品があれば違った選定になるわけですが。

『しまじろうとおおきなき』が、どれくらい入館者数を稼げるのか、現在の子どもの入り具合がどうなのか気になるところです。ちょうど夏休みを挟んで上映していく作品になるので、その辺りを事務局にお伺いしたいと思います。

【会 長】今お尋ねの件、『しまじろうとおおきなき』を喜ぶような年齢層の入館者は多いのでしょうか。事務局から説明をお願いします。

【事務局】プラネタリウム、全天周映画とも、星のことを習うのが小学校4、5年生以上ということもあって、例えば『HAYABUSA2・REBORN・』は宇宙・天文の映画として比較的内容が難しく、一般的に小さいお子様向けの作品とは言えません。夏休みなどは特に「就学前のお子様でも楽しめる作品はありますか」という問い合わせが少なからずあって、それが今の上映作品では『ごん』ということになると思います。土日祝日と夏休みには、3本の映画が上映できるので、3種類の作品の一つとして特に就学前のお子様向けの作品があるのは良いと思います。

【会 長】ありがとうございます。では、次の委員の方、お願いいたします。

【委 員】どの作品もいいと思いました。

『しまじろうとおおきなき』は、低年齢層が家族と一緒に観に来る作品ということであれば、そうした作品があることで、こちらに足を運んでいただく意味はあると思いました。

先ほども指摘がありましたが、『HAYABUSA2・REBORN・』が終わった後に『ボージャー 終わりなき旅』が来て、『ごん』が終わった後に『しまじろうとおおきなき』が来て、というのが3作品の組み合わせとしてスムーズなのかな、と思いました。

【会 長】ありがとうございました。では、最後の委員の方、お願いいたします。

【委 員】『しまじろうとおおきなき』ですが、最後、ジーンとなって涙ぐんでしまいました。ただ、最初の委員の方からもありましたが、最後に「お母さん！ お母さん！」と言うのが気になりました。いろんな環境の子がいる中で、どう思うんだろうな、と思いました。

『アイスエイジ』は、言葉が難しいな、と思ったんです。私、国語の教員なんですが、例えば『HAYABUSA2・REBORN・』は、宇宙の専門的な話ですが、あれは言葉がスッと入って来た印象があって、『アイスエイジ』の方は、一つ一つの言葉のチョイスが難しいのを選んで説明に使われているな、と感じたんです。あと、この作品は、今上映している『南極大陸 未知の世界へ』と同じグループでは上映しない方がいいな、と思いました。

『ボージャー 終わりなき旅』は、観始めたところですぐに前回観たことに気づいたんですが、前回なぜ選ばれなかったのか理由はあったと思いますけど、科学センターなので、宇宙物はあった方がいいのかな、とは思いますが。

今回の3作品を観て、はっきりとこれが良かった、というのがなくて、難しかったです。

【会 長】ありがとうございました。では、私からも感想を。

皆さん仰っていたとおり、『しまじろうとおおきなき』は、対象年齢がどれくらいを想定しているのかな、と思っていました。「お母さん！ お母さん！」の場面は、自分は観ていて気づけなかったのですが、皆さんの御意見を伺って「ああ、なるほどなあ」と思ったところです。

『アイスエイジ』は、なかなかおもしろいと思いながら観ていました。「まだまだ分かっていないことがいっぱいあるんだよ」ということが伝わってきて、これを観た子どもたちが、これから自分たちで探して、自分たちで研究に取り組んでいく、こういう意欲を持ってくれたらいいな、と思いました。

『ボイジャー 終わりなき旅』は、映像が素晴らしかったです。太陽系の惑星が、どうい
うものなのか分かっていない自分でも、「なるほどなあ」と思わせてもらえる内容でした。た
だ、委員さん御指摘のような、誇張された部分があるということについては、専門家の方が
観れば気づくことがあるんだなあ、と感心しました。

【会 長】では、この3作品の中から2作品を選ばないといけないんですが、そろそろ皆さん
の意見を集約して決めていきたいと思います。

今までは、2作品の選定のみ協議会で決めて、上映時期については事務局にお任せする
したこともありましたが、もちろんこの場で順番に上映時期ごとに作品を選ぶこともでき
ると思いますが、選定の仕方について御意見はございますか。

【委 員】『しまじろうとおおきなき』をどうするか、という議論が無いんですけど、先に御意
見があったように、いろんな子がいますから、そこに配慮しないといけないことは確かなん
だろうとは思っています。ただ、制作者の意図としては、主人公のチキはお母さんを亡くして
いる子ですよ。でも強く生きているということを描いているのは、なんとかバランスを取
っているという工夫なんじゃないかと思うんです。仮にお母さんがいない子でも強く生きて
いけるようなことを感じ取ってくれば、良いんじゃないかな、と思います。その上で選ば
ないとするかどうかは、皆さんの御意見を伺ったらいんじゃないでしょうか。

【会 長】ありがとうございます。では、2作品を選ぶということで進めさせていただいて良
いでしょうか。私が作品名を言いますので、選ぶ作品に挙手をお願いします。

【委 員】2回手を挙げるということですか。

【会 長】そうです。

【委 員】すみません、一つよろしいですか。

【会 長】はい、どうぞ。

【委 員】選ぶ前に、例えばこれだけを観に来る、という方だけじゃないと思うんです。夏休
みとか時期によって小さい子をターゲットにして観に来てもらって、同時期にやっている講
座や企画展のようなイベントの集客につなげるということもあるだろうし、別の時期ならま
た違った年齢層をターゲットにして他の作品を、という考え方があると思うんです。あと先
ほど言い忘れたんですが、『しまじろうとおおきなき』には、紙製のメガホンが来場者プレゼ
ントとして配られるように書いてあるのが少し気になっていて、プラネタリウムとしてはど
うなのかな、と。平面スクリーン版の全国の興行収入を見ると、集客は見込めると思いま
すので、あとは他のイベント等とどうつなげていくのか、考えがあれば、お聞きしてから決め
たいと思います。

【会 長】事務局から、いかがですか。

【事務局】今回選んでいただく作品は、11月から1年間、3月から1年間という時期の上映
になります。1年間ですが、やはり上映開始から早い時期の方が集客の勢いがあり、上映開
始時期と作品の相性のようなものはあるかと思っています。まず11月からの時期ですが、
科学センターとしてはちょうど3月にかけて閑散期になり、子どもたちも含めて全般的に
来場者が減る時期になります。平成31年3月にプラネタリウムをリニューアルしたときに、

子どもだけでなく大人も楽しめるプラネタリウムというコンセプトを取り入れて、内装や番組内容などに反映させたという経緯がありますから、閑散期に入る秋冬は、例えば『HAYABUSA2-REBORN-』のような、大人の鑑賞にも耐えうる本格的な科学作品を上映してきた、というのが実状としてあります。また3月からについては、子どもたちの春休みと夏休みに近い時期からの上映となりますので、『ごん』のような小学生あるいは就学前のお子様連れの家族で楽しめる作品があったらいいな、という時期になるとは思います。そうしたことを踏まえて、どの時期にどの作品が相応しいか、御検討いただくこともできるのかな、と思っています。

【会 長】ありがとうございます。それでは、今の説明を受けて、時期を含めて選ぶという方が手を挙げやすいですかね。

【うなずく者多し】

【会 長】では、まず、11月から上映する「作品①」についてお伺いします。

1本目の『しまじろうとおおきなき』が良いと思われる方。

【挙手無し】

【会 長】2本目の『アイスエイジ』が良いと思われる方。

【挙手無し】

【会 長】3本目の『ボイジャー 終わりなき旅』が良いと思われる方。

【全員挙手】

【会 長】ありがとうございます。では「作品①」は、先ほど全員手が挙がりましたので、『ボイジャー 終わりなき旅』を選定することとします。

続きまして、3月から上映する「作品②」についてお伺いします。

1本目の『しまじろうとおおきなき』が良いと思われる方。

【5名挙手】

【会 長】2本目の『アイスエイジ』が良いと思われる方。

【2名挙手】

【会 長】ありがとうございます。では「作品②」は、先ほど大勢の方の手が挙がりましてので、『しまじろうとおおきなき』を選定することとします。

皆さん、よろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【会 長】それでは御異議なしとして、『ボイジャー 終わりなき旅』を11月から、『しまじろうとおおきなき』を来年3月上映作品として選定させていただきます。

他に協議事項等、ございますでしょうか。

【特に意見なし】

【事務局】それでは事務局から一点、御連絡申し上げます。

この協議会は年2回開催することとしており、今回は来年の2月の下旬から3月の中旬にかけて開催し、来年度の夏休み企画展と来年7月上映の全天周映画の上映作品を選定していただく予定です。また時期が参りましたら日程調整の御連絡を差し上げますので、よろしくお願いいたします。

【会 長】ありがとうございます。

それでは最後に、諮問についての答申内容の確認をいたします。

「令和3年11月期及び令和4年3月期全天周映画上映作品の選定について」は、先ほどの結論どおり、令和3年11月期に『ボイジャー 終わりなき旅』を、令和4年3月期に『しまじろうとおおきなき』を上映作品としてそれぞれ選定するという内容で答申書を作成することとしてよろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【会 長】ありがとうございます。以上で、本日の協議事項・報告事項のすべてを終了しましたので、進行を事務局にお返しいたします。

(ここから事務局が進行)

【事務局】長時間に渡り、熱心な御協議をいただき、ありがとうございました。

【委 員】すみません。お話しするタイミングが分からなくて、一つだけよろしいでしょうか。

先日、市立美術館の同じような集まりに参加させていただいたんですが、やっぱり美術館もコロナ禍の中でどうした運営をしたらよいか悩まれているところがあって、その中でホームページを拡充していくことや、あとSNSをどうやって活用していくかとか、あと、もっ

とこんなことをやったら親しまれるのではないかとか、皆さん意見が出たりしました。

科学センターも素晴らしい施設だと思っていて、実は実際の取り組みをよく把握していないままお尋ねして申し訳ないんですが、コロナ禍の中で大変とは思いますが、発信の方をぜひお願いできたら、と思って発言させていただきました。

【事務局】科学センターでは、チケットの発券状況や展示室の入場制限の状況について、ツイッターでほぼリアルタイムに情報提供するとともに、同じ内容をホームページにもリンクを張って、少しでも多くの利用者の方にお知らせできるように努めています。

【委員】今、委員が仰られたのは、科学教育の普及に対しての情報発信を何とかできないか、という御意見だったと思います。

【委員】美術館の場合は、インターネット美術館という仕組みで、コロナ禍でもネット上で美術館の中を見学できるといった工夫をされていました。そういった感じで情報発信を取り組んでいただけたら、という思いです。

【委員】KCT（倉敷ケーブルテレビ）と連携して番組作りをされていますよね。

【委員】ああ、そうなんですな。

【委員】出演者の練習はまだまだ必要かなあ、とは思いつつ、15分くらいの科学実験を紹介する番組が、ケーブルテレビで繰り返し放送されています。

【事務局】もう1年くらい前の撮影になります。

【委員】本来は実際に体験すべき施設だと思うので、なかなかリモートで紹介と言っても向かないところはあると思うんですが、そういった条件の中でもいろいろと工夫をされて取り組んでいただいているとは思っています。

【事務局】ありがとうございます。他に何かございますか。

【特に意見なし】

【事務局】それでは、以上で、令和3年度第1回倉敷科学センター協議会を閉会いたします。

令和3年8月4日

会 長 箕口 けい子 

議事録署名人 荻野 正樹 

議事録署名人 岡本 美里 